

令和3年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック農林水産大臣賞等の受賞団体が決定しました!!

豊かなむらづくり全国表彰事業は、農林水産祭表彰行事の一部門（むらづくり部門）として農山漁村における「むらづくり」の優良事例をたたえ、コミュニティーの強化などにつなげる目的で昭和54年度から実施しています。

令和3年度の東北ブロック受賞団体が決定され、東北ブロックからは、農林水産大臣賞2団体、東北農政局長賞2団体が選ばれ、令和3年11月18日（木）に東北農政局（仙台市）の主会場と、岩手、秋田、山形及び福島各県の各県拠点の副会場をリモート（TV会議・Web）により、表彰式を分散開催します。

なお、農林水産大臣賞を受賞する福島県の「企業組合さくらの郷」は、令和3年11月23日（火）に明治神宮会館（東京都）で開催される「農林水産祭」で、むらづくり部門の「内閣総理大臣賞」を受賞する予定です。

農林水産大臣賞

風通しのよい、企業組合による「桜の郷」づくり！

団体名：企業組合さくらの郷^{さと} 所在地：福島県二本松市^{にほんまつし}

農家の女性有志6人が小さなパイプハウスの直売所を開設し、活動規模を拡大して企業組合を設立した。耕作放棄地の解消のため、そば栽培を推進し、道の駅で「十割手打ちそば」等を提供し、地産地消を重視した6次産業化を行っている。

また、道の駅では、女性を多く雇用し、地域の拠点のみならず、郷土食の伝承と地域交流イベントを開催するなど賑わいの創出とコミュニティーの場「さくらの郷」となっている。



直売所と女性スタッフ

集落型農業法人を主体とした全員参加による地域活性化

団体名：農事組合法人永田ホープフルファーム^{ながた} 所在地：秋田県鹿角市^{かづのし}

農業に軸足を置き、経営面積を拡大し、地域内の農地の大部分を法人が担い、複合経営「水稻+野菜」を行っている。代表作物の「えだまめ」は安定収量を確保し、地元企業（新冷凍技術）と連携して「冷凍えだまめ」を商品開発し、地域ブランドとして好評を得ている。

また、法人を主体とした全員参加型による環境保全活動等を実施することで、地域住民との交流が進み、地域の活性化につながっている。



えだまめ畑とスタッフ

東北農政局長賞

農家を育て農家を守る 地域を育て環境を守る

団体名：農事組合法人室岡営農組合^{むろおか} 所在地：岩手県矢巾町^{やはばちよう}

小麦と大豆の二毛作を行い、安定多収生産を実現し、年間通じた雇用の場を創出。「ところてん方式」と言われるユニークな担い手確保手法により、定年退職の近い兼業農家等を確保。

また、全世帯参加による農村環境の維持・向上の取組により、組合への理解が醸成されており、地域社会の活性化と将来の担い手育成につなげることで、地域環境を守っている。



二毛作（小麦・大豆）のほ場とスタッフ

民を潤し ホタルも潤す水を守り抜け 穴堰が導く活性化

団体名：南原ホタルの里保全の会^{みなみはら} 所在地：宮城県大崎市^{おおさきし}

南原穴堰は、先人からの巧みな水管理（ぬるめ水路等の温水化）による用水供給。ホタルが生息する清らかな水と農地と穴堰を守り、環境保全型農業に取り組み、お米「ゆきむすび」の少量生産と有利販売を実施。食堂兼直売所では、おむすび定食等を提供するなど6次産業化を行っている。近年、世界農業遺産の登録により、知名度がアップ、他出子の就業の動きもあり、活性化につながっている。



環境整備後の保全の会スタッフ

◇ 令和3年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」東北ブロック受賞団体の情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/211006.html>)

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 農村計画課 022-261-6734



現場の課題解決に向けて前進!



10月1日付で新たに東北農政局長に就任した坂本局長を紹介します!

さかもと おさむ
坂本 修 (57歳)

- ・出身地：群馬県
- ・前職：独立行政法人 農畜産業振興機構理事

(東北農政局長としての抱負)

東日本大震災から10年以上がたちましたが、東北は未だ復旧・復興の途上にあることを改めて認識いたしました。一日も早い復旧・復興に努力してまいります。農政上の課題は従来に増して多様化し、グローバルな取り組みが求められています。そのため、農林水産省では本年5月に、「みどりの食料システム戦略」を作成し、地球規模の問題についても農政上の課題と位置づけ生産から消費までの一体的な取り組みが求められています。このように、取り組む内容も山積していますが、それらの政策課題に対し、東北の地において一步でも良き方向に前進するよう、微力ながら最大限の努力に努めて参りますので、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。



<坂本局長就任記者会見より抜粋> 就任記者会見の様子

統計情報

◆作物統計調査 令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (9月25日現在) (東北) を公表しました

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/toukei/seiryu/211012.html>



◆まふナビ東北Vol.4「海面漁業・養殖業の生産量」～農林水産統計調査結果のミニ分析～

<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/bunseki/maffnabi.html>



! 高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底を!!

- ◎ 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか?
- ◎ 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか?

家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しています。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、今一度、点検・確認をお願いします。



鳥インフルエンザに関する情報はコチラ <http://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/tori/index.html>

「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止!

現在、国内において豚熱の発生が確認されています。近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱に関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/asf.html>



↑目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。

管内県拠点 地方参事官室から 取組紹介 (山形県)



東北農政局山形県拠点では、農業者との意見交換の機会を通じて、農政に関する情報を伝え、生産現場が抱える課題や農政に対する意見を汲み上げ、課題解決に導く業務を展開しています。

これまで、意見交換を通じてお会いした農業者の皆様方の「農業の魅力や将来展望」などについて整理した内容を、東北農政局ホームページの山形県拠点に、「やまがた元氣「農の風」」と題して、農業者の熱き思いを紹介していますので是非、ご覧ください。

また、今回の「食・農ひとくち情報」をご覧頂いた農業者の方で、農政や「みどりの食料システム戦略」等について、山形県拠点と意見交換を行ってみたい。または、農政に関する情報を聞きたい方は、気軽にご連絡ください。

農業者の熱い思いとどけ

やまがた元氣「農の風」 農業に携わる方々を紹介

これまでの「やまがた元氣「農の風」」から

やまがた元氣「農の風」は、東北農政局ホームページからご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/yamagata/index.html#nou_no_kaze

問い合わせ先：東北農政局山形県拠点 総括・管理担当 023-622-7231(内線223/224)



◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111 (内線4404、4403)

